

『願い』 一步前へ

長浜市立西中学校 学校だより 第10号

令和5年12月1日 発行文責：小川淳三
生活スローガン「あすこそは」

あいさつ・スマイル・こしほね・そうじ・はきもの

まさに歳月^{さいげつ}人を待たず。今日から師走^{しわす}12月です。4日から10日の1週間は「人権週間」です。本校では4日から集中的に人権学習に取り組みます。この1週間はご家庭でも話題にしていきたいと思います。今回は、小学校でも読んだ金子みすゞさんの詩から学びたいと思います。

私と小鳥と鈴と

金子みすゞ

私が両手をひろげても、
お空はちつとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のように、
地面^{じへん}を速くは走れない。

私がからだをゆすつても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のように
たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、
みんなちがって、みんないい。

みんなちがって、みんないい。誰もがずうっと昔から知っていて、じつは誰も、きちんと
いってくれなかった、そんなすてきなことはのような気がします。

みすゞさんは、なんとうれしいことはを、私たちに伝えてくれたのでしょうか。

“あなたは、あなたでいいの” “いるだけで百点満点” といってくれたのです。

なぜ“あなたは、あなたでいいの” というと、誰もが“40億年といういのち年”の中で、
たった一度だけ、自分という器にいのちをいただいて、未来へと運んでいく、かけがえのない存在だからです。

そして、どんなにほかの人をうらやんでも、自分という器に入ってくれたいのちは、決して
ほかの人の器には入ることのできない、唯一のいのちだからです。

小学生の人たちに「世界で一度きりのものと、二度も三度もあるものと、どちらが宝物で
すか」とたずねると、いつもはっきりと答えてくれます。

「一度きりのものです」と。

誰もが自分を一度しかできないということは“誰もが宝物”だということです。一人のこ
らず、誰もが宝物なのです。あなたも私もです。宝物でない人はいません。

宝物だから、“いるだけで百点満点”なのです。

このいるだけで百点満点という尊厳^{そんげん}は、他の誰一人として犯すことはできません。どんな
権力も、一人の人の尊厳を失わせることはできません。

もし、いるだけで百点満点という尊厳を減らすことができる人がいるとしたら、それは自
分だけです。自分だけがしあわせなら、ほかの人はどうなってもいいとか、人を傷つけても、
自分だけ得をすればいいと考えることでしか、自分の尊厳を減らすことはないのです。(後略)

『みすゞコスモス② いのち こだます 宇宙』 矢崎節夫^{せつお} 著より

すべての存在がそのままですばらしいと気づいた時、「私」中心だったまなざしが、「あなた」に
向かっていきます。「私と小鳥と鈴と」という題で始まり、それぞれのすばらしさに気づいて、まな
ざしが変わって、「鈴と、小鳥と、それから私」と、私が最後にきています。

自分を中心に考えると、自分が相手より上がってしまうので、上から下へ、「なぜ分からないの」
「どうしてできないの」「君のことが分からない」といいがちになります。これでは相手を理解
することはできません。上がってしまった自分の位置を、相手の位置まで下げない限り、相手を理解
することはできないのです。だから理解^{りかい}するとは英語で、understand アンダ・スタンド、下に立つ
と書くのです。もう一度「私と小鳥と鈴と」を声に出して読んでみてください。きっと、やさしい
気持ちになることでしょう。(矢崎節夫さんのコラムより)

「寒いね」と話しかければ 「 」と答える人のいるあたたかさ

これは俵万智さんの短歌ですが、「 」にはどんな言葉が入ると思いますか？

国語の時間で短歌を学習するときに、俵さんやこの歌に出会った人もいることでしょう。

ちいさい秋が見つからないままに、いきなり冬本番を迎えました。寒い時に温かい飲み物があるとホッとするように、寒いな～と感じている時に、共感して言葉を返してくれる人がいると心があたたまります。言葉の持つ力ってすごいですね。

「ありがとう」など、相手が無気なく言ってくれた言葉で、心があたたかくなることがあります。また、「大丈夫だよ」など安心できる言葉をかけられて、不安が和らぐこともあります。言葉は、気持ちを伝えるものですが、あたたかい言葉は、人を勇気づけ元気にする力を持っています。あたたかい言葉は、かけられた人はもちろんですが、かけた人（あなた自身）もあたたかい気持ちになることがあります。誰かの小さなつぶやきに、一言を返してみませんか？ あなたの何気ない一言が、その人の心にぬくもりを与えるかもしれません。まだまだ心のマスクが外せない人もいますがマスクの下は笑顔でいたいものですね。

※「寒いね」

なんでもない会話なんでもない笑顔

なんでもないからふるさとが好き 俵万智

◇人権を守っていくうえで大切なことは・・・

①自分も他人も大切にすること

それぞれ人には個性があるように、その違いを認めること、これは他人の生き方や、考え方を尊重していく第一歩です。お互いの違いを認め合いながら、それぞれの違った自由、これを尊重すること、これが君達の世界での自由権です。個人の尊重とは、自分を大切にすると同じように、他人を大切にし、他人を傷つけないということです。

②差別を許さない

いかなる理由によろうとも、人を差別することは、人権侵害事件です。気軽に口に出す人の悪口、いやがるあだ名、無視すること、弱いものいじめをすることは、実は人が人を差別する人権侵害事件なのです。このことは暴力と同じように決して許せない行為なのです。

チーム西中・駅伝大会の結果 11月開催

3日・市民駅伝 女子4位・5位、男子1位

7日・ブロック駅伝 女子4位、男子2位・11位

男女ともに県大会への出場権を獲得！

野村歩夢さん(2区)、北村滯音さん(4区)

古池陽太さん(6区)が区間賞獲得！

17日・県中学校駅伝 女子41位、男子20位

県大会では、慣れないコースに悪戦苦闘しながらも、決して最後まであきらめず「走魂」と刺繍(しゅう)された襷(たすき)を繋げました。襷と一緒に心も繋いでいたのでしょう。練習も含め、お疲れさまでした。ありがとう。



12月の主な学校行事予定等

- 1 (金)～8 (金)「西中人権週間」
- 4 (月)「西中いのちの日」
2年生・人権講話⑤
- 4～8 (金) 2年生・学びの実験室
- 5 (火) 3年生・高齢者疑似体験学習
- 12 (火) 7・8組クラフト講座③④

- 15 (金) 3年生球技大会⑤⑥
- 18 (月)～21 (木) 三者懇談会
- 22 (金) 終業式、大掃除
- 26 (火) 県アソソブルコンテスト北部地区大会
- 25 (月)～1月8日 (月) 冬季休業
- 28 (木)～1月3日 学校閉校日



☆学年行事の詳細は、各学年より連絡いたします。学校の様子はホームページをご覧ください。

31日まで「年末の交通安全県民運動」期間です。自分と他人のいのちを守りましょう。